

大会役員

 大 会 会 長 安齋 友吉

 大 会 審 判 長 安齋 正明

第36回 極真空手道選手権福島県大会 型の部 進行表

9:00 選手受付

9:15 審判打ち合わせ

9:30 開会式 9:50 試合開始

審判員

 大竹
 正明
 玉虫
 亨
 阿崎
 広行
 (1~30)

 木村
 俊輔
 田村
 政宏
 長谷川
 伸一
 (31~59)

司 会 遠藤邦俊

12:30 閉会式

※試合が終了した選手から解散になります。

入賞者は表彰式があります。

注意事項

- ■選手の皆さんは自分の出番の5試合前までには選手待機場所にて、お待ち下さい。
- ■選手の呼びかけや探し回ることは行いませんので、各自責任を持って、ご準備下さい。
- ■出番になっても準備ができていない場合は失格になりますので、ご注意下さい。
- ■判定に対する抗議は一切認めません。
- ■本大会は、型試合のためお静かにご覧頂きますよう皆様のご協力をお願いいたします。

※施設内・施設敷地内は禁煙です。皆様のご協力をお願いいたします。マナーを守れない

場合は団体全体の責任として選手が失格になる場合もございますので十分にご注意下さい。

型試合判定基準

①客観性

1. _正確さ

- ______ Ⅰ)立ち方(膝の張り、腰の位置、腰の切れ、足の位置)
- Ⅱ)技の正確さ(目標、コース)
- |||)演武の方位(技をかける方向が正しいか)
- IV)演武線(開始位置と終了位置が同一か)
- V)技の順序(間違いや脱落はないか)

. 力の強弱及び気合・気迫

- I)着眼(仮想敵を捉えているか。目付け、残心)
- Ⅱ)気合(力強い気合)
- Ⅲ)技の乱れ(力みにより技が乱れていないか)

3. 身体の伸縮、転身

- I)バランス(中心及び重心の確保による身体の移動)
- Ⅱ)運足(足の運びはすり足となり、正しい軌跡であるか)
- Ⅲ)腰の上下動(移動の時、腰の位置が一定に保たれているか)

4. 技の緩急

5. 型の「流れ」と表現力

- Ⅰ)演武時間(所定の時間内に終了しているか)
- Ⅱ)極端なクセ(技、立ち方、目付け、移動にクセはないか)

② 主観性

1 正確今

Ⅰ)入場及び退場(入退場時、堂々と胸を張り表情を引き締める)

2. _力の強弱及び気合・気迫

I)力の強弱(必要とする瞬間に力を一点集中しているか。力の抜き差し) Ⅱ)呼吸(乱れがなく、技と呼吸が一致しているか)

3. 身体の伸縮、転身

」)中縮(技に適した体勢に至る、身体の速さ)

Ⅱ)身のこなし(次の技に向かう時の各動作が速やかに繋がっているか)

4. 技の緩急

- I)技の速さ(型の意味に沿った技の速さの相違)
- II)集中力(動作一つ一つが生かされているか)

5. 技の「流れ」と表現力

- I)技の特徴(技の持つ意味を正しく理解しているか)
- Ⅱ)個性(年齢、体力、性別による個性の表現があるか)

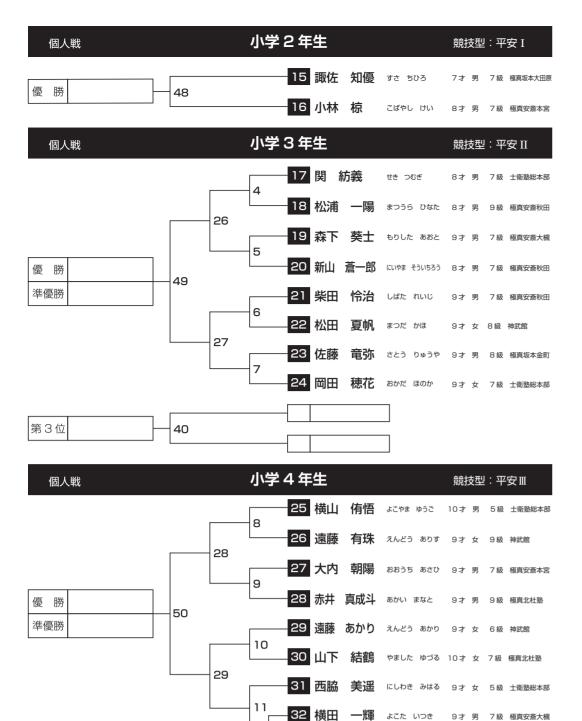
Ⅲ)流れ(よどみのない流れがあり、ギクシャクしていないか)

※演武は2名(2組)同時に行い、3審による旗方式で判定いたします。 ※団体戦ついては協調性も採点基準に反映されます。











33 立花 輝

第3位

41

たちばな ひかる 9才 男 7級 極真北杜塾

